



## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 朝鮮	山県有朋首相が第1回帝国議会で唱えた「利益線」は、具体的には朝鮮半島を指していた。清国やロシアの影響下に入ることを防ぎ、日本の影響力を確保することが、日本の独立を守るために極めて重要であると考えられた。
問2	答え 4 コンドル	イギリス人建築家のジョサイア・コンドルは、工部大学校（のちの東京大学工学部）の教授として日本の近代建築学の基礎を築いた。彼の教え子である辰野金吾は日本銀行本店や東京駅を設計した。コンドル自身も、明治の洋風化政策の象徴である鹿鳴館などを設計したことで知られる。
問3	答え 1 第1回衆議院議員総選挙	1889年の大日本帝国憲法発布にともない、翌1890年に衆議院議員選挙法に基づいて実施された日本初の国政選挙である。直接国税15円以上を納める25歳以上の男子という厳しい制限選挙であったため、有権者は総人口の約1.1%にすぎなかった。この選挙では、地主層を背景とする民党（野党）が過半数を獲得し、超然主義をとる藩閥政府と対立する初期議会の状況が生み出された。
問4	答え 1 台湾出兵	1871年の宮古島島民遭難事件を契機に、明治政府は琉球の帰属（日本領であること）を清国や国際社会に認めさせるため、1874年に軍隊を派遣した。これが台湾出兵である。この出兵は、のちの琉球処分を進める上での重要な布石となった。
問5	答え 2 日英通商航海条約	陸奥宗光外相のもとで駐英公使の青木周蔵らが交渉にあたり、1894年に調印された。日清戦争の開戦直前に締結されたことで、イギリスの好意的中立を確保する背景ともなった。これにより領事裁判権の撤廃と関税自主権の一部回復が実現した。
問6	答え 3 足尾銅山鉱毒事件	古河市兵衛が経営する足尾銅山から流出した毒水や、製錬所の排煙、山林乱伐による水害などが重なり、渡良瀬川流域に深刻な被害をもたらした。田中正造による国会での追及や天皇への直訴など、明治期における最大の社会問題の一つとなった。
問7	答え 2 留学生派遣	幕末期、江戸幕府や薩摩藩、長州藩などの諸藩は、欧米の先進的な技術や制度を学ぶために、明治新政府が成立する以前から海外へ留学生を派遣していた。幕府によるオランダへの西周や津田真道の派遣、長州藩によるイギリスへの伊藤博文や井上馨の派遣、薩摩藩による森有礼らの派遣などがその代表例であり、彼らは帰国後、日本の近代化に大きく貢献した。
問8	答え 1 大阪会議	征韓論争（明治六年の政変）や台湾出兵に反対して下野した木戸孝允や板垣退助を政府に復帰させるため、1875年に大久保利通、木戸、板垣らが会談を行った。この会談の合意に基づき、立憲政体の樹立に向けた改革が進められることとなった。
問9	答え 4 内閣制度	明治政府は、それまでの太政官制に代わる近代的な行政機構として、1885年に内閣制度を創立した。これにより、太政大臣・左大臣・右大臣などの職が廃止され、内閣総理大臣が各省大臣を統率する仕組みが整えられた。初代内閣総理大臣には伊藤博文が就任した。
問10	答え 2 日本之下層社会	日清戦争後の産業革命の進展に伴い、都市の細民や工場労働者、農村の貧農などの生活困窮が深刻な社会問題となった。ジャーナリストの横山源之助は、これらの人々の悲惨な生活実態を実地調査に基づいて克明に描き、1899年に本書を著した。これは日本の社会主義運動や社会政策の先駆的な文献となった。
問11	答え 3 学制	1872（明治5）年に発布された学制のもとでの小学校教育では、男子だけでなく女子も同じ教室で共に学ぶ男女共学の授業が行われていた。国定教科書制度の導入（1903年）や教育勅語の発布（1890年）はのちのことであり、学制初期にはまだ導入されていない。